

利用・用途・応用分野

医療・福祉分野、安否確認通報システム

目的・課題

脈拍を測定する手段は、赤外線発光ダイオードから出る赤外線を血管に当てて、吸収量又は反射量の大きさをフォトランジスタで測定して脈拍の検知を行うため、利用者が安静にしていなかった状態では赤外線の光軸がずれて脈波信号にノイズが乗ることとなり、脈拍を正確に測定できない問題がある。

解決ポイント

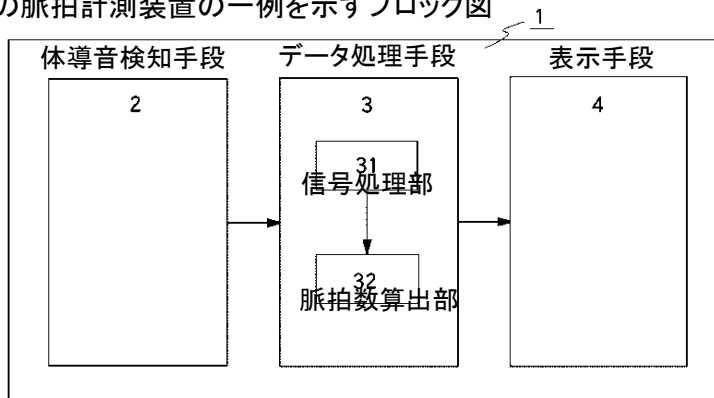
本発明の脈拍計測装置は、動脈音又は心音を検知し、脈拍信号を取得する体導音検知手段と前記体導音検知手段が取得する脈拍信号に基づいて脈拍数を算出する脈拍数算出部を有するデータ処理手段を備えることを特徴とする。

研究概要・アピールポイント

本発明の脈拍計測装置は、利用者の体動の影響を受けることがなく、脈拍を正確に計測できるので極めて実用性が高い。また本発明の脈拍計測装置を用いた安否確認通報システムは、安否を確認するための装置構成が簡素化されるとともに、前記利用者の安否情報と位置情報を管理者に通知することができるので極めて実用性が高い。

脈拍計測装置

【図1】本発明の脈拍計測装置の一例を示すブロック図



◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティー・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp